

現在実施している主な取組  
(既に実施、またはR2年度で実施を予定しているもの)

1 行政運営の効率化

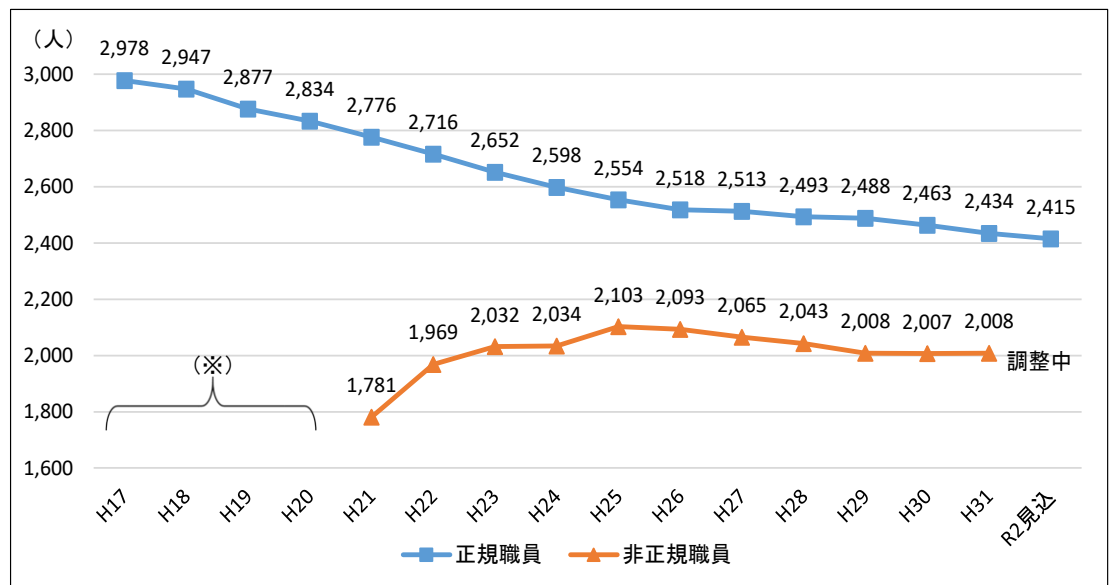
(1) 職員数

これまでの取組(組織体制や事務事業の見直し、現業職員の退職不補充、業務の委託化等)に加え、業務効率の向上等をさらに図り、一般行政職及び非正規職員を引き続き削減します。

■前年度比削減数見込み

		H31. 4. 1 職員数	R2. 4. 1 職員数(見込み)	削減数
フル タイム	一般行政職員	2, 2 3 6 人	2, 2 2 4 人	▲ 1 2 人
	技能労務職員	1 9 8 人	1 9 1 人	▲ 7 人
	正規職員計	2, 4 3 4 人	2, 4 1 5 人	▲ 1 9 人
短時間勤務正規職員		1 4 人	2 0 人	6 人
非正規職員		2, 0 0 8 人	調整中	
合 計		4, 4 5 6 人		

■職員数の推移 (各年度 4月1日現在)



※旧長岡市以外の旧市町村の非正規職員数に係る統一的な情報がないため空欄とした。

## (2) 職員給与

### ■ラスパイレス指数の状況（平成31年4月1日）

長岡市	施行時特例市平均	新潟県	新潟市	上越市
96.6	100.0	100.1	98.8	98.8

※ ラスパイレス指数は、給料月額を同一の基準で比較するため、国を100として計算した指数です。

## (3) 時間外勤務手当の削減

文書・資料作成や会議運営の工夫などにより、業務や移動時間の効率化やコミュニケーションの促進を図り、時間外勤務手当の削減を進めています。

<取組の例>

- ・RPA及びAI-OCRの導入
- ・会議改革ガイドライン及び資料改革ガイドラインの作成と実施
- ・Web会議システムの活用やL o G oチャットの試行
- ・辞令交付式等の縮小
- ・スライド勤務（時差出勤）の励行
- ・職員PCへのメッセージの表示（早期退庁・業務効率化促進）
- ・研修の拡充（タイムマネジメント研修等）

### ■時間外勤務の状況

	H28	H29	H30
一人あたり月平均時間数 （単位：時間）	15.1	15.1	14.3
時間外勤務総時間数 （単位：時間）	421,133	421,300	394,902

## (4) 事務経費の削減

電子データ利用によるペーパーレス化や既存資料の活用等により、印刷物と事務経費を削減しています。

## 2 施設管理の適正化

### (1) 清掃・警備経費の見直し

定期清掃の頻度を利用実態に合わせ見直ししたほか、機械警備の対象施設の縮小や警備内容の見直しを行い、管理経費を削減しています。

## (2) 競争入札の拡大による電力コストの削減

これまで庁舎やコミュニティセンター、学校など32施設で電力入札を実施し、電力コストを削減しました。令和2年度も新たに学校など10施設の電力入札を実施する予定です。

(入札による平均削減率(令和元年度) 約22%)

## (3) 施設の廃止

勤労会館と老人憩いの家「刈谷田荘」等について、利用者数の減少と施設の老朽化が著しいため、令和2年3月末をもって閉館します。

## 3 財務体質の強化

### (1) 指定管理者の利益還元納付金制度を試行導入

公共施設の指定管理者が経営努力や創意工夫を発揮して利益を生じた場合、一部を設置者である市に納付いただく利益還元納付金制度を令和2年度から試行導入します。

(対象予定施設:ながおか花火館、もみじ園、和島オートキャンプ場など)

### (2) 未利用地の売却の促進

令和2年度は、旧消防本部跡地などを売却する予定です。

### (3) ふるさと納税等の拡充

全庁的なPR強化や返礼品の創意工夫、ふるさと納税型クラウドファンディングの拡充などにより、令和元年度は、当初見込みより約10億円増える見込みです。

### (4) 使用料の見直し着手

受益者負担の適正化を図るため、運営原価や周辺の類似施設の状況等を踏まえ、令和2年4月より、アオーレ長岡、まちなかキャンパス長岡及び社会福祉センター(トモシア)の営利目的使用料と和島オートキャンプ場の使用料を改定します。